

令和2年9月

大野市教育委員会定例会
会議録

日 時：令和2年9月28日（月）午後3時30分～午後5時40分
場 所：大野市役所 大会議室

大野市教育委員会 9月定例会 次第

令和2年9月28日(月)午後3時30分～
大野市役所 大会議室

1 開会

会議録署名人 馬道委員 松田委員

2 8月定例教育委員会の会議録の承認について

3 教育長重要事項報告

4 議事

報告第9号 成人年齢引き下げ後の成人式の在り方について

議案第51号 大野市小学校再編支援事業補助金交付要綱案

議案第52号 令和2年度教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書案

5 付議事項

1) 令和2年9月大野市議会の報告について

資料1

2) 小中学校再編計画検討委員会の報告について

資料2

3) 10月の行事予定について

資料3

・10月定例教育委員会 10月29日(木)午後2時30分～ 談話室

4) 大野市が目指す学校教育について

資料6

6 その他

1) 大野市学校業務改善方針の改訂について

資料4

2) 9月の業務報告について

資料5

3) その他

7 閉会

<出席者>

	教育長	久保俊岳
	委員（教育長職務代理者）	馬道保
	委員	關園子
	委員	松谷由美
	委員	松田輝治
事務局（説明者）	事務局長	清水啓司
	教育総務課長	横田晃弘
	学校教育審議監	千田佐
	生涯学習課長	横井一博
	生涯学習課スポーツ振興室長	多田直人
	文化財課長	佐々木伸治
（書記）	教育総務課企画主査	竹田雄次

<傍聴者>

3人

【開会】

【教育長】ただいまから大野市教育委員会 9 月定例会を開会する。本日は 3 名の傍聴を許可したので報告する。

——<大野市教育理念の唱和>——

【会議録署名人】

【教育長】本日の会議録署名人は、馬道委員、松田委員に願います。

【8 月定例教育委員会会議録の承認について】

【教育長】事前にお送りした 8 月定例教育委員会会議録案について、ご意見、ご質問等があれば願います。

——<意見・質問なし>——

【教育長】事務局の提案どおり承認してよろしいか。

——<異議なし>——

【教育長】提案どおり承認する。

【教育長重要事項報告】

【教育長】部活動の改革について申し上げます。今朝は陽明中学校に寄って出勤した。陽明中学校では、2 学期から登校を 10 分遅らせて、生徒にも職員にも余裕をもたせているとのことだった。遅刻者は一人もいなかった。また、校長の話では、新規の不登校生も出ていないとのことだった。先日は有終南小学校の校長から、時々欠席者ゼロの日があるとの報告もあり、大変嬉しく思った。各学校が、コロナ禍の中で、学校教育の原点を見つめた多くの工夫と配慮を行っていることに心から感謝したい。

そんな中、先般、文部科学省は、部活動の在り方について方針を発表した。公立の中学校・高等学校における休日の部活動を地域や民間団体に委託し、教員による指導は希望者のみとする形式に切り替えることを柱とする改革方針を取りまとめた。

2023 年度（令和 5 年度）から段階的に導入し、将来的には平日も地域主

導にしたい考えである。

現在、部活動については、生徒の学校生活の見直しと教員の多忙化解消を目標に改革が必要とされている。部活動をブラック部活と表現する人がいるように、部活動が背負い込んできたものが大き過ぎたように思われる。その結果、生徒も教員も生活に余裕がなくなり、いろいろな課題が出ていることは否定できない。

ただ、一言で部活動を悪者にする論調には、個人的には複雑な思いをもっている。自分自身もその時代の中で、一生懸命に部活動に取り組んできた。生徒と同じ目標に向かって頑張ったこと、その中で信頼関係を築けたこと、保護者の皆様からも多くのことを学ばせていただいたこと等、生徒も教員も大きく成長させてもらったことは事実である。そのことを今後とも胸を張って伝えていきたいと思う。その上で、今一度、部活動とは何かを見つめたいと思う。

少子化により、学校単位のチームが成立しなかったり、自分が通う学校ではやりたい活動ができなかったりするケースが増えている。学校ごとの枠組みを各種目の連盟や協会、地域等に広げるなど、システムを変えることができれば、生徒の選択肢も十分に広げることができる。また、教員が日々の部活動の時間を授業の準備に充てたり、生徒の話を十分聞いたりすることなどに回せれば、学校にはまた違った風景が現れるのではないかと思う。

後ほど、大野市学校業務改善方針の改訂について時間をとる。その時に、ご意見をいただきますようお願いする。

【議事】

【教育長】 報告第9号 成人年齢引き下げ後の成人式の在り方について、事務局の説明をお願いする。

——<生涯学習課長説明>——

【教育長】 ご意見、ご質問等があればお願いする。

【松田委員】 市民への周知は、いつ頃を予定しているのか。

【生涯学習課長】 12月議会で報告した後に市民に周知したい。

【松田委員】 先に問い合わせをしてくる市民もいると思うので、早めに周知した方がよいと思う。

【教育長】 報告第9号については、以上とする。

議案第51号 大野市小学校再編支援事業補助金交付要綱案について、事務局の説明をお願いする。

——<教育総務課長説明>——

【教育長】 ご意見、ご質問等があればお願いする。

【松谷委員】 修学旅行に2回行くという事例はあるのか。

【審議監】 5, 6年生が合同で修学旅行に行く学校がある。そのような学校が再編されると5年生で修学旅行に行った児童が6年生で2回目の修学旅行に行く場合がある。

【松田委員】 これから学校再編が進むことを考えると、学用品の購入支援も大切だが、学用品の買い替えが生じないような手立てを考えることが必要だと思う。学校によって使用する学用品が異なっていると、学校再編したときに学用品の買い替えが必要になる場合がある。ランドセルなどは長く使えるものであり、大変もったいない。全市的に学用品を統一することはできないのか。

【審議監】 ランドセルや体操服は、各学校がPTAと協議して何を使うかを決めている。学校再編計画検討委員会でのような提案があれば、それを受けて、各学校のPTAがどう考えるかということになる。働きかけは大切だと思う。

【關委員】 どの学用品を使うかはPTAが決めるのかもしれないが、将来的に市内の学校で統一するという選択肢を提示してもよいと思う。

【教育長】 東日本大震災の時には、避難児童生徒のために多くの学用品の寄付が集まった。せつかく購入した学用品が無駄にならないように検討していきたい。

【教育長】 議案第51号について、事務局の提案どおり承認してよろしいか。
——<異議なし>——

【教育長】 議案第51号については、提案どおり承認する。

議案第52号 令和2年度教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書案について、事務局の説明をお願いします。

——<教育総務課長説明>——

【教育長】 ご意見、ご質問等があればお願いします。

【關委員】 達成度や評点の欄が設けられて見やすくなった。結の故郷教育支援員配置事業について、各学校で必要な支援員の人数をしっかりと把握されたい。支援員が足りないという学校がある反面、支援員がいてもやることがないという学校があると聞いている。機械的に毎年同じ人数を配置するのではなく、各学校の状況に応じて支援員の適正配置をお願いしたい。

【審議監】 1月頃に各学校に支援員や相談員の必要状況調査を行い、学校訪問による現場確認も行った上で、各学校の状況に応じて支援員を配置している。学校で支援員が有効に活用されていないとすれば残念である。支援員を有効に活用できるよう指導していきたい。

【教育長】 支援員が自分の存在意義を実感して働けるよう努めていく。

【松谷委員】 失敗するとすぐに声を掛けられたり、頑張ろうと思ったことを先に言われたりして、心が萎えてしまう子どもがいると聞いた。支援員は子どものためを思って支援していると思うが、しばらく様子を見てほしいという子どももいると思う。支援員と子どもの気持ちをすり合わせるための、話し合いの時

間を持てるとよいと思う。

【審議監】 支援員は自分の判断だけで支援しているのではなく、担任と連携を取って支援を行っている。しかし、子どもと話し合う時間を見つけられていない支援員もいると思う。十分に子どもの気持ちをつかみながら支援に当たるように研修の中で指導していきたい。

【馬道委員】 状況確認シートの形式がしっかりと決まっており、達成度や評点を見れば一目で状況が分かるので見やすかった。また、評価改善事項が追加されたことで、前年度からの改善点も分かりやすかった。学校評価もこのように形式をある程度統一できるとよいと思う。

【教育長】 議案第52号について、事務局の提案どおり承認してよろしいか。
——<異議なし>——

【教育長】 議案第52号については、提案どおり承認する。

【付議事項】

【教育長】 付議事項1) 令和2年9月大野市議会の報告について、事務局の説明をお願いします。

——<事務局長説明>——

【教育長】 ご意見、ご質問等があればお願いします。

——<意見・質問なし>——

【教育長】 令和2年9月大野市議会の報告については、以上とする。

付議事項2) 小中学校再編計画検討委員会の報告について、事務局の説明をお願いします。

——<教育総務課長説明>——

【教育長】 教育委員の傍聴席も用意しているので、時間があればどのような検討がされているかご覧いただきたい。

【松田委員】 傍聴席を用意いただけるなら参加させていただく。

【教育長】 小中学校再編計画検討委員会の報告については、以上とする。

付議事項3) 10月の行事予定について、事務局の説明をお願いします。

——<各課室長説明>——

【教育長】 ご意見、ご質問等があればお願いします。

【關委員】 COCONO アートプレイスの企画展は、だれが企画しているのか。

【生涯学習課長】 市民で構成する実行委員会で企画している。企画展に合わせてワークショップも開催している。先日は、鬘嘸さんの刷師・助田さんの講演会を開き情報発信にも努めた。

【關委員】 COCONO アートプレイスが、まだ市民に十分に浸透していない。施

設も企画展の内容もよいのだが、もう少し市民に足を運んでもらえるよう努力されたい。

【生涯学習課長】五番通りや六間通りのイベントに合わせてワークショップを開いたり、昨年は無料開放を行ったりした。今年は市民の方は無料なので、そのことを呼び掛けていきたい。

【關委員】市報やチラシは目にとめてもらえないことが多い。若者向けの企画展であれば、SNSを使ってピンポイントに周知するとよいと思う。

【生涯学習課長】マスコミにも取り上げていただいている。なるべく市民の目に触れる機会を増やしていきたい。

【關委員】生涯学習課だけが頑張る必要はなく、全ての市職員がクチコミでPRすればいいと思う。

【松谷委員】静かに待っているだけではなく、入口で声掛けすることも大事だと思う。飲食スペースには結構人が来ているので、それらの方にも観覧を呼び掛けるとよいと思う。

【教育長】何の施設かなと迷っていらっしゃるような方を、上手く誘導できるとよい。

【關委員】何の施設か分からないまま、車で素通りしてしまうイメージがある。何か素敵な感じでアピールしてもらえるとよい。

【生涯学習課長】コロナ対策でもあるが、入口を一方向にして「市民の方は無料ですよ」というような声掛けを行っている。工夫していきたい。

【松田委員】ブックスタートの本の種類はどうしているのか。2人目、3人目の子どもにも同じ本を渡しているのか。

【生涯学習課長】事前に話を聞いて違う本を渡していると思う。

【關委員】持っている本であれば取り替えてもらえると思う。

【松谷委員】小中学校の計画訪問とは何か。

【審議監】春と秋に教育長や指導主事が学校を訪問している。学校から研究授業などへの指導助言を要請される要請訪問と、全ての教員の授業を見る計画訪問があり、今回は計画訪問である。計画訪問では教員の資質や授業力を見て、授業力を上げていくにはどうすればよいかということ、校長会や教頭会と連携して検討している。

【教育長】10月の行事予定については、以上とする。

付議事項4) 大野市が目指す学校教育について、私から説明する。

――<教育長説明>――

【教育長】ご意見、ご質問等があればお願いします。

【馬道委員】教育理念の具現化について、教育委員会から具体的に示すことはよいと思う。以前、大野の歴史を聞かれて、答えられずに悔しい思いをしたことがある。自分が住んでいるところの自然や歴史を分かっていることは大切だと

思う。ふるさと教育の、大野から始まって福井、日本、そして世界へという考え方はとてもよいと思う。また、昨年度に行ったアンケートから市民の声がしっかり反映されていると思う。教育関係者の声も拾っていただいております、ありがたいと思う。

【松谷委員】大野市の地域性を生かすことについてお話しする。県内全体に高校の選択肢が増えたことで大野から出てしまう子がいるが、私は大野に残って18年間過ごすことが一番大事だと思っている。小中9年間の義務教育に3年間の高校教育を加え、大野で人材を育てていてもらいたい。そういう地盤がある地域性を生かすことを理念に入れてもらいたい。

【關委員】自分が認められている、楽しいから学校に行くと思えるような自信を育む教育が大事だと思う。大野が楽しければ、大野に残ると思う。逆に楽しくなければ、一貫した教育や色々なことを発信しても子どもに入っていくかと思う。最終的に大野に戻ってきたい、大野に関わっていききたいと思う子どもに育ててもらえればと思う。

【松田委員】自分の存在が学校で認められる教育が大切だと思う。子どもの得意なことを見つけてあげて、その子の存在が認められるような学校生活を送れる教育を進めてもらいたい。子どもは自分ができることがあれば、それが自信になって他のことにも波及する。子どもは、褒められれば褒められるほど一生懸命になる。世間に役立つ子どもを育てるという方針で進めてもらいたい。

大野に帰ってくるかどうかということになると、生業が成り立たないと帰ってこられない。大野に皆が住めるような生業をつくれる子ども、ふるさとに企業を引っ張ってくるという考え方ができる子どもを育ててもらいたい。

【關委員】私が知っている若者は、大野で楽しい幼少期を過ごしたから大野に戻ってきたと言っていた。楽しい時を過ごしていないと帰ろうとも思わない。楽しい学校、自信を持たせてくれる学校をつくるために、教員には子どもをしっかり認めてあげてもらいたい。

【松田委員】勉強ができる子どもを育てるだけが教育ではない。勉強ができる子どもできない子も一緒になって、よい社会をつくっていくことが大切だと思う。

【教育長】大野市が目指す学校教育については、以上とする。

【その他】

【教育長】大野市学校業務改善方針の改訂について、事務局の説明をお願いします。

——<審議監説明>——

【教育長】中学校の部活動も含めて、ご意見、ご質問等があればお願いします。

【松田委員】部活動の指導者を教員以外に依頼する場合、国は指導者に必要な資

格について考えているのか。

【スポーツ振興室長】 特にないと思う。

【教育長】 大会に出場する場合には、有資格者の帯同が義務付けられている場合がある。

【松田委員】 指導者の研修は実施しないのか。昔のようなスパルタ指導をする指導者では、逆に子どもが自信喪失してしまう。

【教育長】 スポーツ少年団ではどうなっているのか。

【生涯学習課長】 スポーツ少年団では、有資格者を複数人登録する必要がある。先般、日本スポーツ協会の資格制度の見直しがあり、これまでは、指導者、講師、コーチといったように分かれていたものが全てコーチに統一され、レベルに応じてコーチ1，コーチ2，コーチ3というようになった。スポーツ少年団もそれに合わせており、公的な資格が定められている。スポーツ少年団の指導者の最初のレベルの資格を取得するには1日の研修が必要である。市としても、スポーツ少年団の指導者に公的な資格を取ってもらえる取り組みをしていきたいと考えている。

【松田委員】 スポーツ部でも文化部でも、無資格者が指導するのは危険である。

【生涯学習課長】 これまでスポーツ少年団の指導者は、一度登録すると更新の必要がなかったが、制度の見直しにより、4年に1度は講習を受けて資格を更新することが必要になった。

【馬道委員】 教員の月80時間以上の時間外勤務者が4割減少したと新聞で読んだが大野市ではどうだったのか。また、コロナウイルス対策により、消毒作業や体育祭・文化祭の方式変更のための会議の時間が増えたと思うが、教員の時間外勤務への影響はどうだったのか。

【審議監】 月に80時間以上の時間外勤務を行った教職員は、4月は小学校で教頭2人、事務職員1人、中学校で教頭1人だった。昨年度は、小学校で教員8人、中学校で教員30人だったので大幅に減少した。本年度、教頭と事務職員の時間外勤務が増えた原因は、コロナ対応の中心が教頭だったことと、新任の教頭、新任の事務職員の時間外勤務が多かったためである。5月は小学校で教頭1人、中学校で0人だった。6月は小学校で教頭3人、教員11人、中学校で教頭1人、教員14人だった。昨年度は小学校で教員13人、中学校で教員33人だった。6月から学校は再開したが、部活動は3週目、4週目から再開したため、昨年度に比べて中学校の時間外勤務者が減少した。7月は小学校で教頭2人、教員10人、中学校で教頭1人、教員30人だった。昨年度は小学校で0人、中学校で教員26人だった。本年度は夏季休業期間が短くなったことにより、昨年度より時間外勤務者が増加した。

コロナ対策については、最も影響を受けたのは教頭だったと思う。体育祭や文化祭の方式変更については、卒業式の時に練習方法を見直すことができている

たので、今回はあまり大きな負担増にはならなかったと聞いている。

【馬道委員】大野市は校務支援システムを導入していないが、今後、導入の予定はあるのか。また、教員の出退勤については、教員が自分で記録しており客観性に欠けると思われる。タイムカード導入の予定はあるのか。

【審議監】校務支援システムを導入すると高額の維持費がかかるため、大野市ではシステムを導入していない。校務支援システムでは、成績表や出席簿、指導要録を作成することができるが、大野市では、校長会、教頭会で独自のシステムを作成して校務支援システムに近い運用ができています。

県内の全市町が同じ校務支援システムを使うようになれば、教員がどの市町に異動しても同じシステムを使えることで、異動による教員の負担が軽減できる。他市町の状況を見極めつつ、将来的には大野市でも導入が必要になると考えている。現在は、県が構築した校務支援システムに半数程度の市町が加入している状況である。

教員の出退勤の記録については、教員が正直に正確に記録する雰囲気ができしており、校長にもそのように指導をお願いしている。

【馬道委員】本年度は夏休みが短縮され、暑さによる子どもたちへの影響が心配されたが、エアコンを活用することで快適に授業ができた。夏休みが短縮されて、子どもたちが残念がっていたという印象もなかった。

本年度から小学校高学年で英語が教科になり、日々の授業時間が増えている。教員や子どもの負担を減らすために、今後も夏休みを短縮し、授業日数を増やすことで日々の授業時間を短くするという事は考えていないか。

【審議監】小学校の授業時間が長くなっていること、特に月曜日に6校時まで授業をしていることは問題であると考えている。しかし、本年度の夏季休業期間の短縮は、各学校長からの要請に基づいて臨時的に実施したものである。恒常的に夏季休業期間を見直す場合には、学校管理規則の改正が必要であり、そのためにはしっかりと見極めが必要である。

【關委員】部活動に外部の指導者が入ると教員の負担は減ると思うが、予算はどうなのかと思う。また、勝負にこだわると、教員も子どもも負担が大きくなってしまいますので、楽しんでできる部活動だとよいと思う。現在、土日のどちらかは必ず休みにするといったようなことが決められ、教員にとっても子どもにとってもいい方向に向かっていると思う。

【松谷委員】部活動を指導したいという教員には引き続き指導してもらい、それ以外を外部に委託するという方針なのか。

【教育長】部活動にしっかり関わりたいという教員、そうではない教員、楽しみを中心にした子どもというように、大人も子どもも選択できる形を模索していくことになると思う。

大野市学校業務改善方針の改訂については、以上とする。

9月の業務報告について、ご意見、ご質問等があればお願いします。

【松田委員】文化財保存活用地域計画策定協議会について、どのような協議会か教えてもらいたい。

【文化財課長】文化財に関する大野市のアクションプランを策定する協議会である。どのようにして地域に根差した文化財を残していくか、また、どのようにして多くの方に見ていただくかということについて、具体的な計画を策定する。9月24日に本年度1回目、通算3回目の協議会を開催した。3回目の協議会では、これまでに作った素案と修正点を説明し、自然、城下町といったテーマごとのグルーピングについて協議を行った。委員からは「文化庁と協議することも大事」「地域の文化財を見てしっかりテーマを設けたほうがいい」といった貴重な意見をいただいた。

【松田委員】新たな発見と発掘についても、どういう手法があるのかを計画に盛り込んでもらえるとありがたい。

【事務局長】各地区でワークショップを開催し、指定、未指定に関わらず、地域にどのような文化財があるのか洗い出すこととしている。

【教育長】9月の業務報告については、以上とする。

その他何かあればお願いします。

【教育総務課長】8月31日に第4回乾側小学校先行再編準備委員会を開催したので報告する。今回は、PTAの統合と放課後子ども教室について協議を行った。PTAの統合については、下庄小学校に合わせることで決定した。放課後子ども教室については、来年度以降も乾側地区の放課後子ども教室を継続する方針で検討していると報告した。

また、乾側小学校統合記念事業として、記念誌の発行、記念碑の製作、記念イベントの実施等を行うため、9月7日に乾側公民館で地元住民等による実行委員会の設立総会が開催された。蕨生小学校や森目小学校の統合の際にも、同様の統合記念事業が実施され、市は補助金を交付している。今回も地元から要望があれば、12月議会で補正予算を要求したい。

【文化財課長】文化財課の事務スペースが歴史博物館のオープンスペースにあるため、入館者が落ち着いて観覧できないという声を以前からいただいていた。

8月下旬に文化財課の事務スペースを展示室の奥に移動した。博物館の職員は以前の場所で受付業務や展示の説明、観光案内をできるようにした。以前より静かな環境で観覧いただけることになり、概ね好評である。

【關委員】さらに予算をかけて、きれいにしてもらえるとよいと思う。

【松谷委員】文化会館について、総務文教常任委員会から「経費の削減に向けた新たな提案がなければ予算執行は承認しかねる」と言われていたが、何か進展はあったのか。

【教育総務課長】今のところは、何も進展していない。今後、スケジュール、内

容を併せて検討していきたい。

【事務局長】今年度中に新たな提案をすることは難しい。令和5年度末に新たな文化会館のオープンを予定していたが、それは無理である。

【閉会】

【教育長】これをもって、大野市教育委員会9月定例会を閉会する。

午後5時40分終了

令和2年10月29日

(馬道委員)

(松田委員)